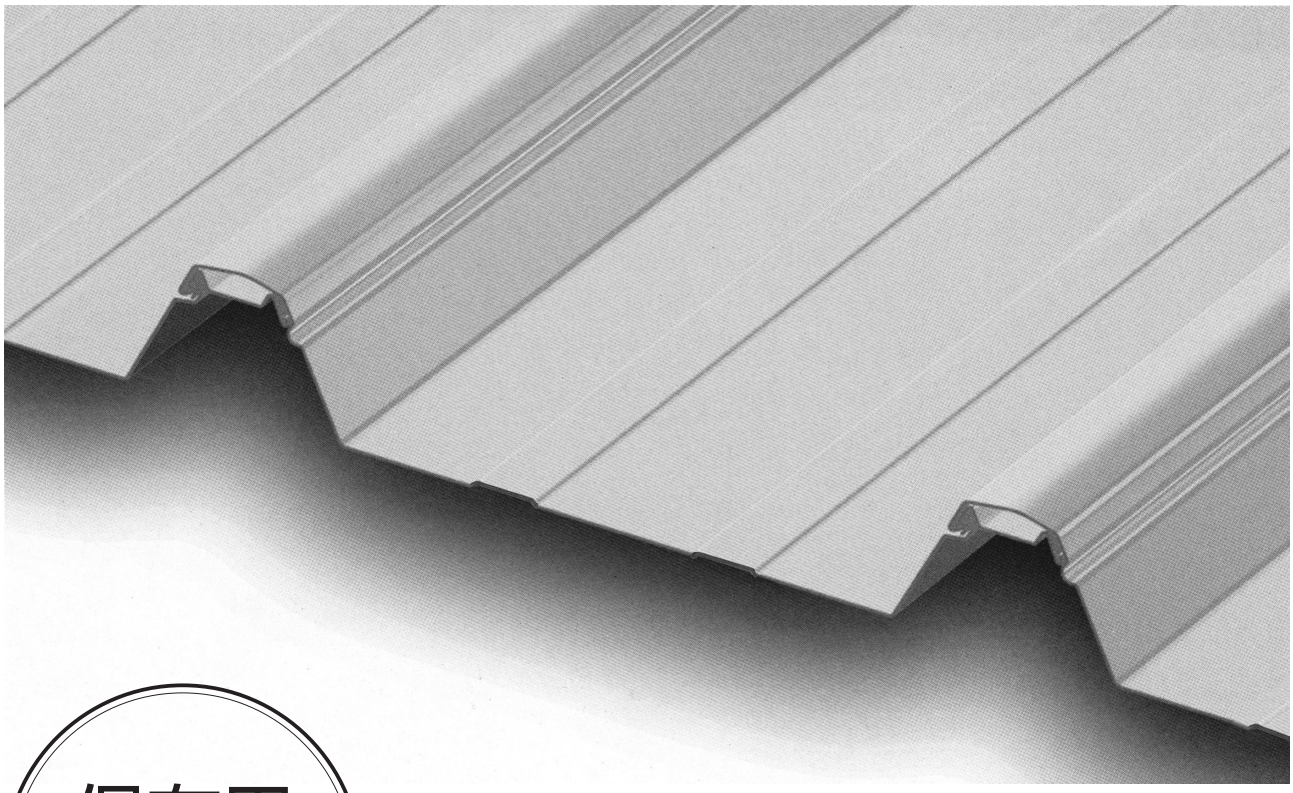
駆締め機不要のかん合屋根

MSタフカバー66

ロク　ロク

施工の手引き

新築・リフォーム用



保存用

ファイルにして
ご使用ください。

月星商事株式会社

MSタフカバー 66
施工手引きのご使用に当たって

●施工手引きには、MSタフカバー 66を安全に正しくお使い頂くための重要な情報を記載しています。

●施工や納まりの方法は、施工手引き記載以外のもありますが、製品品質、施工品質を確保するための方法として、標準的な例として記載しております。

●実際の施工においては、MSタフカバー 66の機能及び性能や地域性などを考慮して工法を決定してください。

●施工手引き内で示す寸法は標準値であり、現場での実施工において、地域性等を考慮する場合、納まり状況等により前後することがあります。

●施工手引きを参考いただき、元請け様や工事店様のご判断、責任のもと、施工を行って頂きますようお願い致します。弊社は免責とさせていただきます。

●MSタフカバー 66の工事に当たり、施工手引き記載の基本事項をご理解の上、実際の現場に即した、安全で確実な施工を行って頂きますようお願い致します。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

●高所作業を伴いますので、転落による事故防止のため、高所作業の正しい服装と保護具を着用し、足場の点検を行ってください。
●2メートル以上の高所作業は、安全ベルト、命綱の携帯が法律で規定されています。事故の可能性がありますので、関係法規に従ってください。
●金属製屋根・外装材ですので、けがを防止するために、必ず作業手袋を着用してください。
●強風・雨天・降雪・雷鳴時の場合は施工しないでください。落下または落雷事故の恐れがあります。
●雨や露で屋根面がぬれている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
●金属屋根や金属部材は、電線等に触れないように取り扱ってください。感電の恐れがあります。
●固定していない屋根材・役物の上には絶対に乗らないでください。
●屋根材は風で吹き飛ばされないように設置してください。また風の吹いているときに持ち運ぶ場合、あおられないよう、足元を固めてください。
●葺き上げた屋根面には物を置かないでください。ルーフィング上に屋根材を置くときは、安全を確認して滑り落ちないように固定してください。

⚠注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が傷害を負う危険または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●製品の屋外保管の場合は防水シートで覆い、雨水に濡れないようにしてください。
●防水のため施工の際は、葺き板の働き幅による正確な割付を行ってください。
●屋根上での歩行は、屋根材に過度の付加が加わらないように注意してください。
●断熱材貼り製品の場合、裏面や切断面に溶接の炎、火花などがあたると引火する恐れがあるので、養生するなど特にご注意ください。
●屋根上で作業中に出る加工片や切粉は、さびの原因となりますので、確実に取り除いてください。
●異種金属との接触は、もらいさびの原因となりますので、避けてください。
●現場加工時に、鉄板の切断面に生じたバリは、けがをする可能性があるので取り除いてください。
●下葺き材はアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シート以上の品質のものを使用してください。
●施工したあとの屋根面の塗装に傷がつかないように注意してください。もし傷をつけてしまった場合は、必ず補修塗料で補修をしてください。
●シーリング材、補修スプレー、補修塗料などは、製品安全データシートに従って、正しくご使用ください。
●落ち葉やごみなどは作業者の足を滑らせたり、目を傷つけたりして事故の原因となることがありますのでご注意ください。毎日の作業前・終了後は、現場の掃除をしてください。

免責事項

金属屋根材および外装材は、建築材料・製品として、十分満足できる品質・性能を備えていますが、正しい施工と適切な維持管理がなされることによって、初めて耐久性や耐候性、その他の機能が発揮されるものです。下記の項目に反した使用により不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

●貴社の施工管理が十分なされなかったことに起因する場合。
●施工店による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
●入居者（管理人を含む）又は第三者による維持管理不行き届き並びに故意・過失に因る場合。
●建物の構造上に起因する変形、変位または結露、下地材の腐朽等による不具合が発生した場合。
●施工に起因する事故、および釘部のさび、切粉・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵等が原因で汚れ等が発生した場合。
●瑕疵を発見後、速やかに通知が出されなかった場合。
●シーリング部に不具合が発生した場合。
●経年変化による軽度の色ムラ及び埃の堆積による変色や白化現象。苔、藻、カビ等の発生による汚水や変色。
●建築基準法および関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
●天変地異・周辺環境・大気汚染等公害・塩害等に起因する特殊環境下で不具合が生じた場合。
●契約当時、実用化された技術では予測することが不可能な現象に起因する場合。
●屋根・外装材以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。
●水が溜まる状態の部分の塗膜損傷および電食作用が原因で不具合が生じた場合。
●不適当な他材料（銅、鉛、銅イオンを防腐処理した木材等）と組み合わせて使用したことに起因する場合。
●屋根工事完了後における増改築・補修並びに太陽光発電システムやアンテナ等の設置或いは付属品等の取付けに因る場合。
●特殊環境地域（温泉場や絶えず蒸気等により製品が濡れている様な環境の地域、焼却炉付近、特殊ガス・熱・酸・アルカリ・塩類・その他腐食物質を発生する施設や工場並びに地域、塩害地区、海・河川等の周辺でしぶきがかかるような地域、煙塵及び金属粉・石粉が堆積する地域）における損傷。
●その他弊社の責に因らない損傷に起因する場合。

その他ご不明な点がありましたら弊社にご相談ください。

MSタフカバー 66

施工の手引き

MSタフカバー 66
施工手引きのご使用に当たって ……1

安全上のご注意 ……2

目　　次 ……3

(1) 屋根材・付属部品・製品仕様 …… 4

(2) リフォーム

・施工の流れ …… 5
　1) 工程と作業の内容
　2) 施工上のご注意
■構成図 …… 6
■下地への固定 …… 6
■軒先唐草取付け(例) リフォーム用 …… 7
■施工手順/リフォーム用 …… 8

(3) 各部位の納め

■軒先唐草の形状(例) …… 9
■サンバナ面戸の納め …… 9
　・山部を軒先まで切取る場合
■軒先の納め …… 10
　・木造下地
　・鉄骨下地
■ケラバ側の納め(リフォーム・新築共通) …… 11
　・木造下地
　・鉄骨下地
■流れ直角方向の納め
　(リフォーム・新築共通) …… 12
　・木造下地
　・鉄骨下地
■棟部の雨仕舞(リフォーム・新築共通) …… 13
　・水止面戸の取付け要領
　・エプロン面戸の取付け要領
■棟納め(リフォーム・新築共通) …… 14
　・棟包の取付け(鉄骨下地)
　・八千代折り加工
　・棟のぬき板組合せ取付図(木造下地)
■水上部片棟納め …… 15
■棟包とケラバ包み納め …… 15
　・ケラバ包みの形状(例)
■谷といの納め …… 16
■軒先箱といの納め …… 16
■化粧フレーム納め …… 17

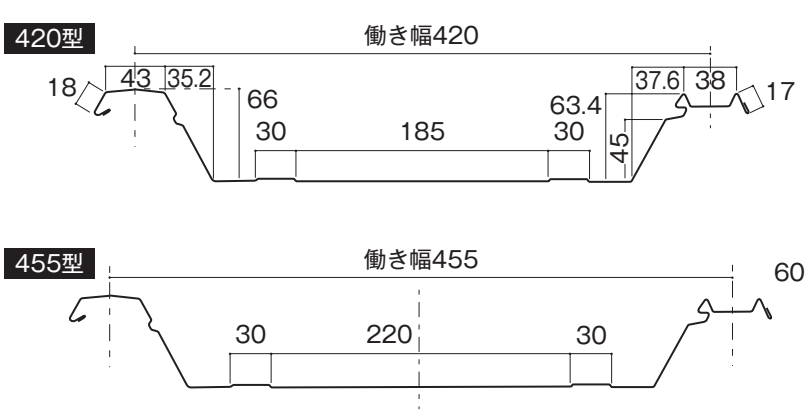
(4) 新築

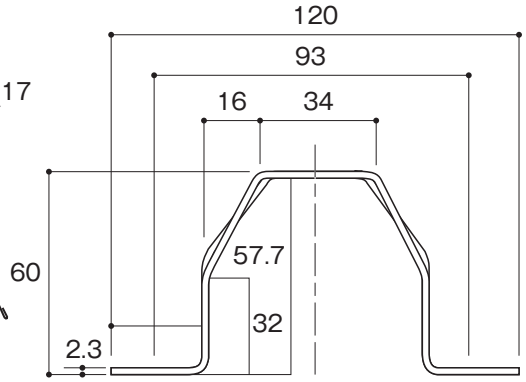
・施工の流れ …… 18
　1) 工程と作業の内容
　2) 施工上のご注意
■軒先・ケラバ各役物取付け …… 19
　1) 現場実測
　2) 軒先唐草/ケラバ唐草取付け
・軒先唐草とケラバ唐草の交点(例)
・継手(例)
　3) 防水材の敷き込み …… 20
・施工手順/新築用 …… 21

注意事項
月星GLカラー /セリオスプライム、
タフクールご使用に際して …… 22

(1) 屋根材・付属部品・製品仕様

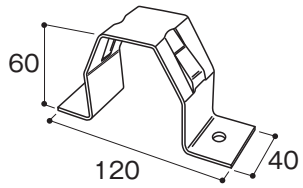
本体



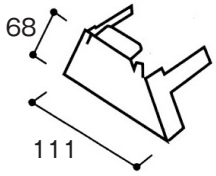


付属部品

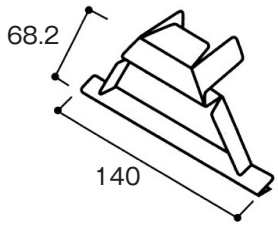
●タイトフレーム



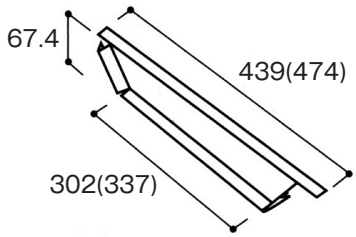
●軒先面戸爪付



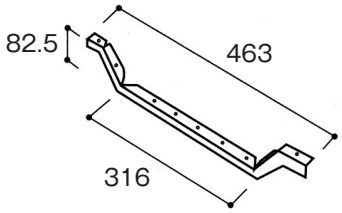
●サンバナ面戸



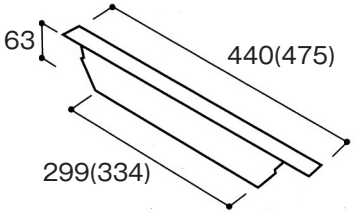
●水止面戸



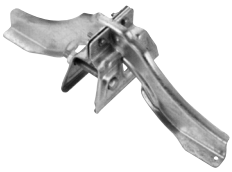
●化粧フレーム



●エプロン面戸



●雪止め金具



兜(かぶと)66ハゼ

D-407　66ハゼ

製品仕様

板厚	0.5mm	最小曲げ半径	15mR以上
寸法	山高66mm×働き幅420mm（420型） 山高66mm×働き幅455mm（455型）	使用材料	SELiOS Prime
㎡当り重量	420型　0.5mm－6.0kg 455型　0.5mm－5.87kg	用途	住宅、工場、倉庫、事務所、 公共施設などの新築及び改修用
屋根の勾配	5／100以上		
標準色	B40V（ブルー）、N50V（グレー）、R15V（メタリックブラウン）、S81V（シルバー）		

(2) リフォーム

施工の流れ ～「瓦棒屋根の改修」の場合～

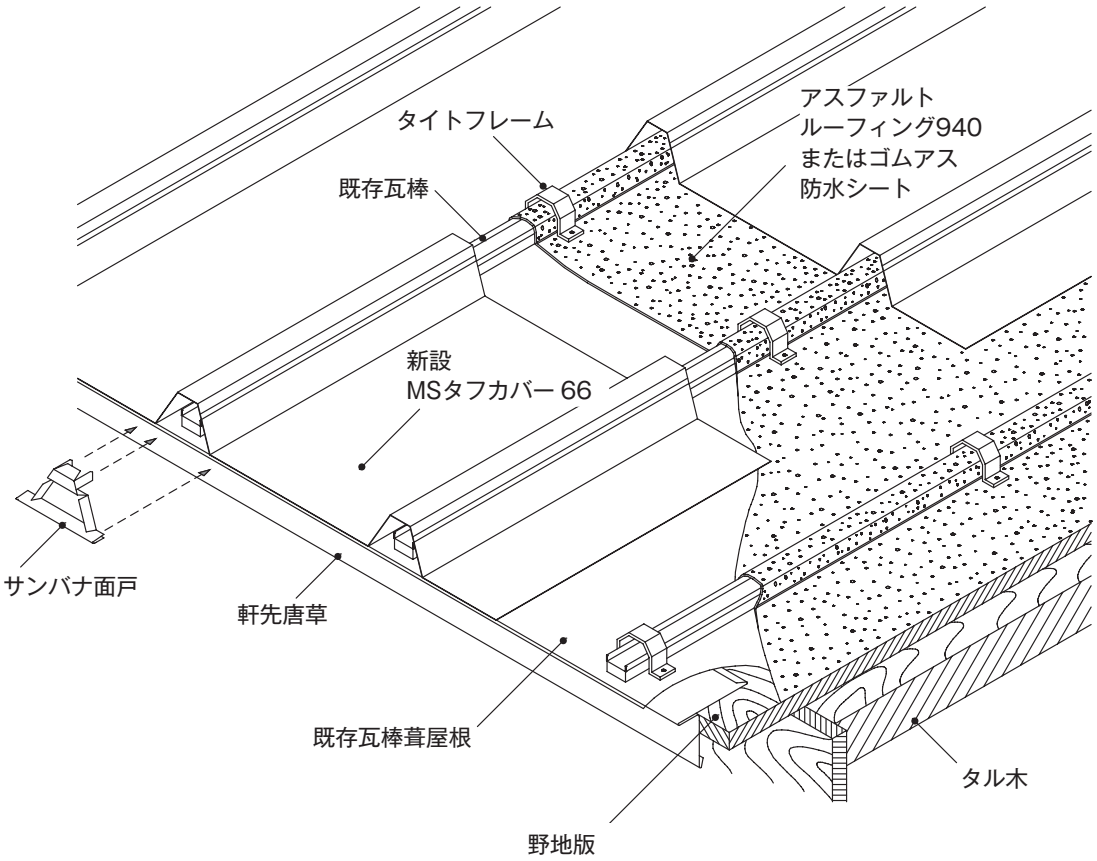
1) 工程と作業の内容

【工程】	【作業内容】
既設屋根面の点検・清掃	劣化点検・ごみ・汚れの清掃
既設屋根の軒先・ケラバ・棟各部点検	不要役物撤去・障害物確認
野地板の点検	小屋根裏より雨漏りの有無や腐朽程度確認
下地の点検	下地劣化点検
新設防水材の敷きこみ	
軒先・ケラバ唐草・各部の取付け	軒先唐草・ケラバ唐草・谷等 軒先唐草切込現場合わせ
墨だし	
タイトフレームの取付け	タイトフレーム取り付け位置
屋根本体の施工	ＭＳタフカバー 66取付け
各役物取付け(棟・雨押さえ・壁取合い)	本棟、下り棟、各取り合い
片付け・清掃・撤去した設備修復	アンテナ、室外機等設備修復 駄目廻り点検
最終チェック	チェック表記載
完工・引き渡し	

2) 施工上のご注意

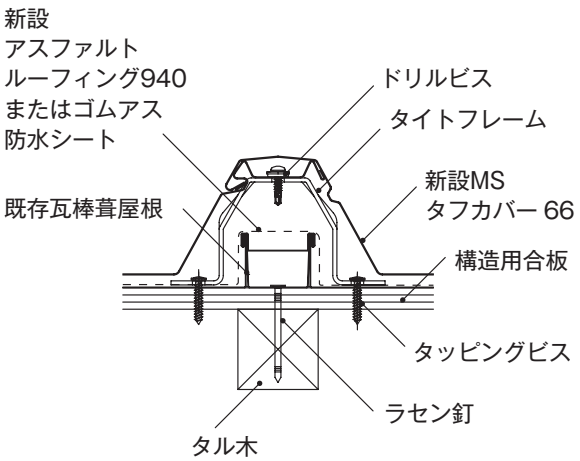
既存の古い瓦棒葺屋根は、屋根面の傷み以外に、下地や母屋の損傷が進行して、所定の強度が保てない場合があります。施工の前に、悪い箇所を入念にチェックし、補強や取替え、不陸調整をしてください。
また既存屋根上に足場板を敷いたり安全ネットを取付けて、踏み抜きや落下など事故防止と安全面にも十分に注意してください。

■構成図

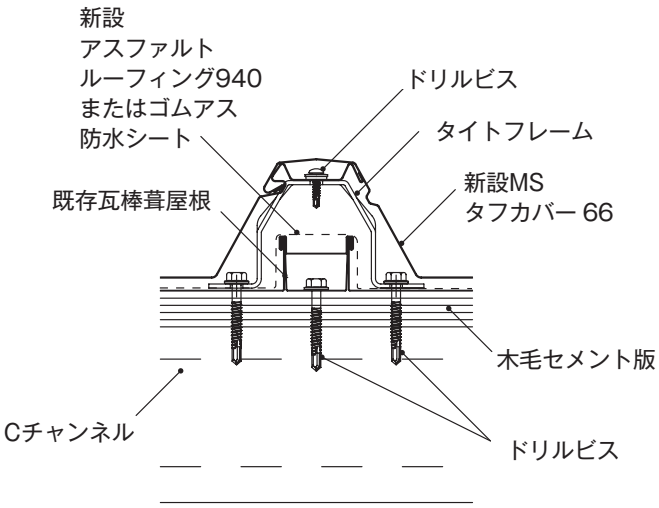


■下地への固定

●木造下地への取付け

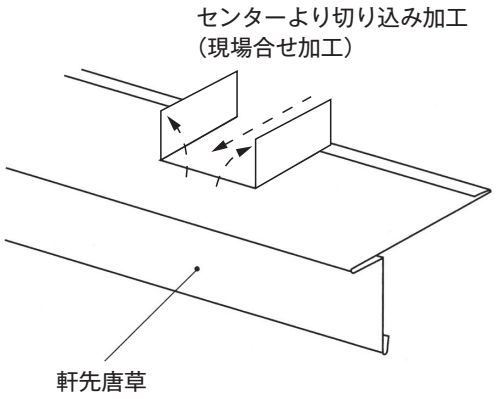


●鉄骨下地への取付け



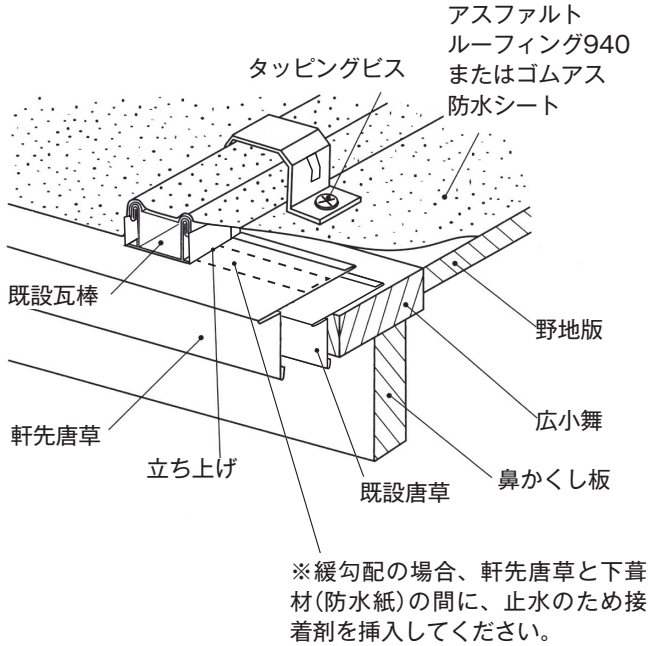
■軒先唐草の取付け(例)リフォーム用

●軒先唐草を切り込み立ち上げる場合(例)



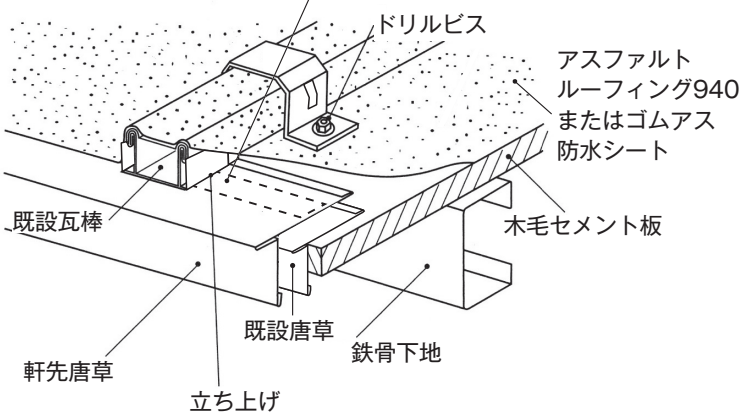
●軒先唐草は既設瓦棒に当たる部分を切り込み加工(例：立ち上げ)など現場合せ加工をしてください。

●木造下地の納り



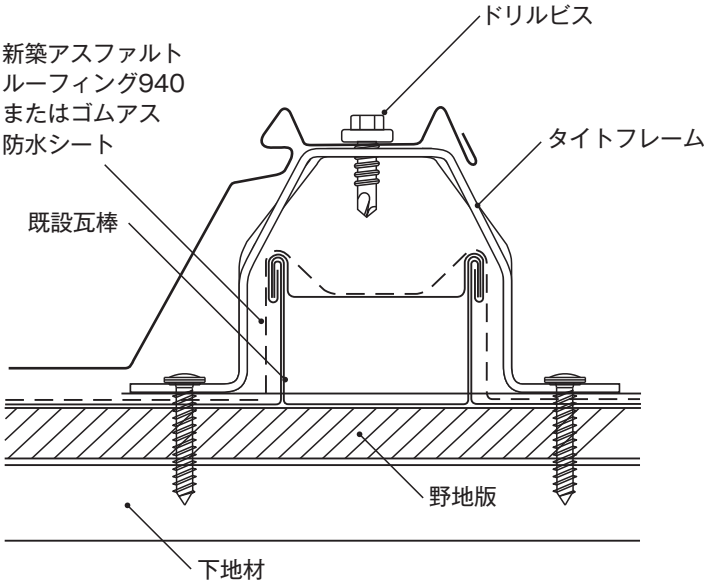
●軒先唐草は母屋、広小舞又は野地板にタッピングビスで取付けます。
●タイトフレームの取付けピッチは455mm 以内に野地に取付けてください。
●軒先のタイトフレームは野地板にタッピングビスで固定してください。

●鉄骨下地の納り

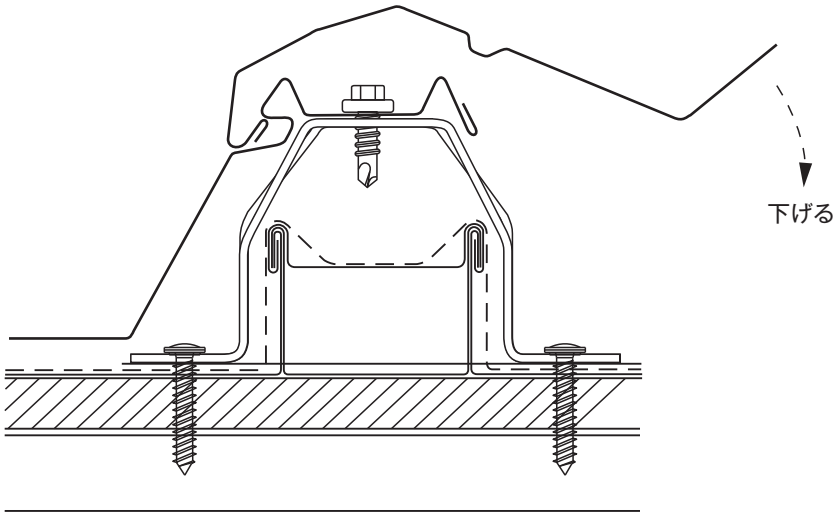


●軒先唐草は鉄骨下地にドリルビスで取付けてください。
●タイトフレームの取付けピッチは455mm 以内に野地板に取付けてください。
●タイトフレームは野地板にタッピングビス。軒先は鉄骨下地にドリルビスで固定してください。

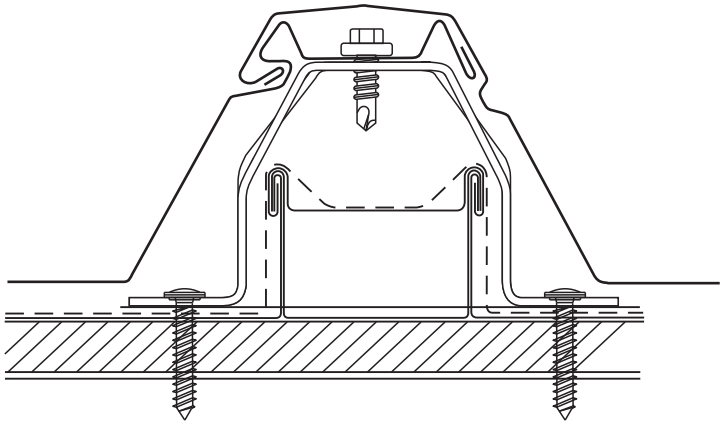
■施工手順／リフォーム用



- タイトフレームに本体をドリルビスで留めつける。
- 本体下かん合側の山部をタイトフレームにドリルビスで留めつけます。



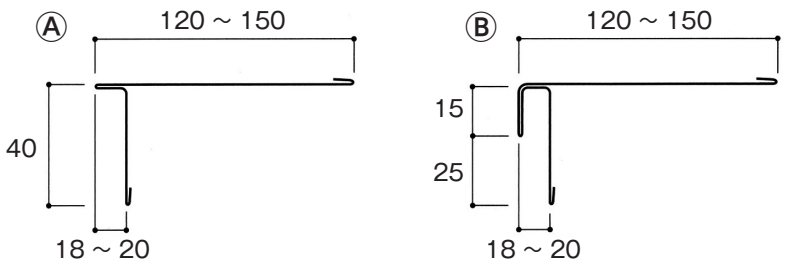
- 本体はかん合側を下かん合側の左側溝部に引きかけながら被せます。



- 本体が左側溝部にかん合しているか確認する。

(3) 各部位の納め

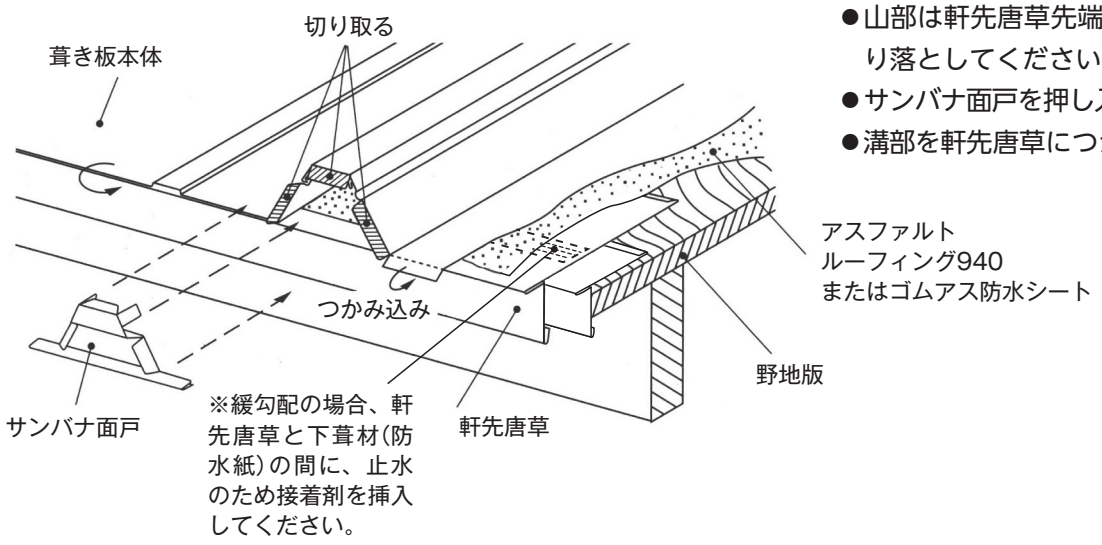
■軒先唐草の形状(例)



●軒先唐草は一般的にⒶが使用されますが、雨水の水切りをよくしたり、意匠性を強調する場合はⒷが用いられます。いずれの場合も現場合わせで加工してください。

■サンバナ面戸納め

●山部を軒先まで切り取る場合

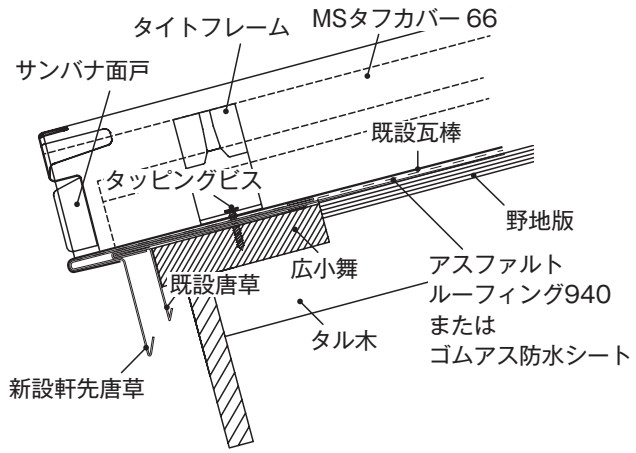


●葺き板溝部は、軒先唐草のつかみ込み代15mmを残して切り込みます。
●山部は軒先唐草先端位置に揃えて切り落としてください。
●サンバナ面戸を押し入れて納めます。
●溝部を軒先唐草につかみ込みます。

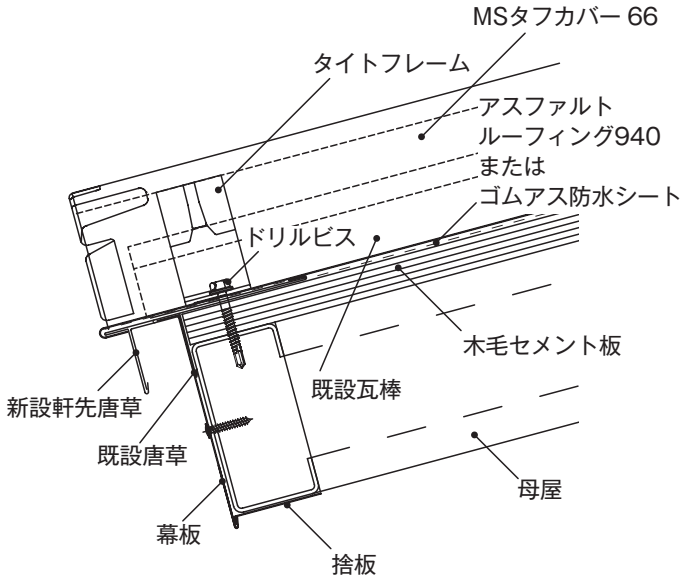
■軒先の納め

［ リフォーム ］

●木造下地

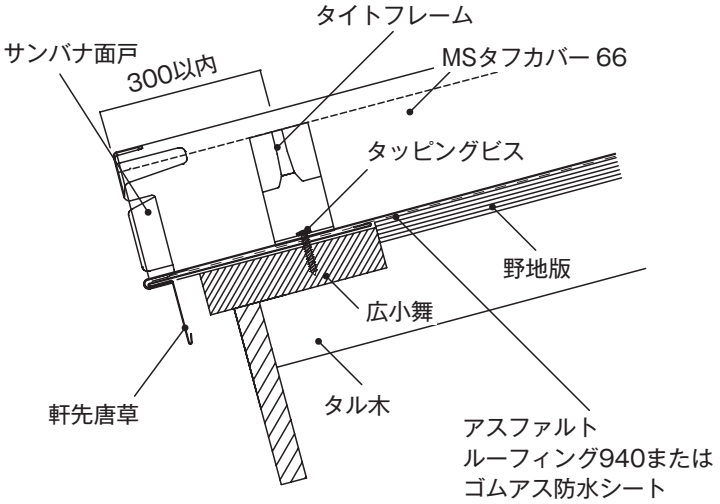


●鉄骨下地

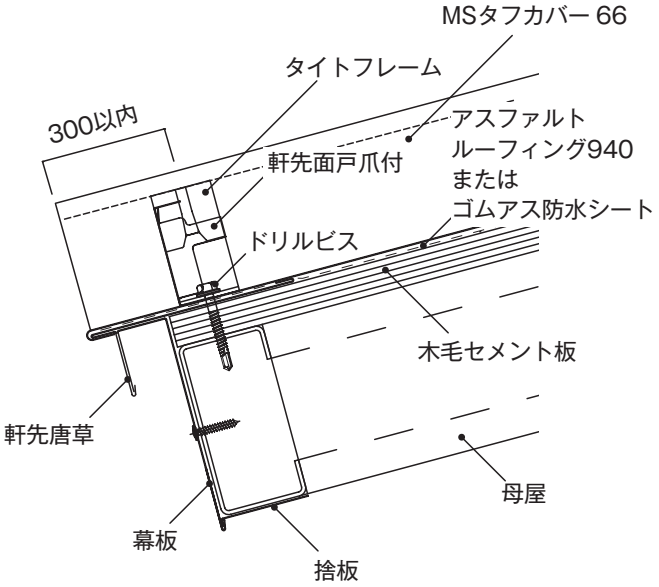


［ 新築 ］

●木造下地



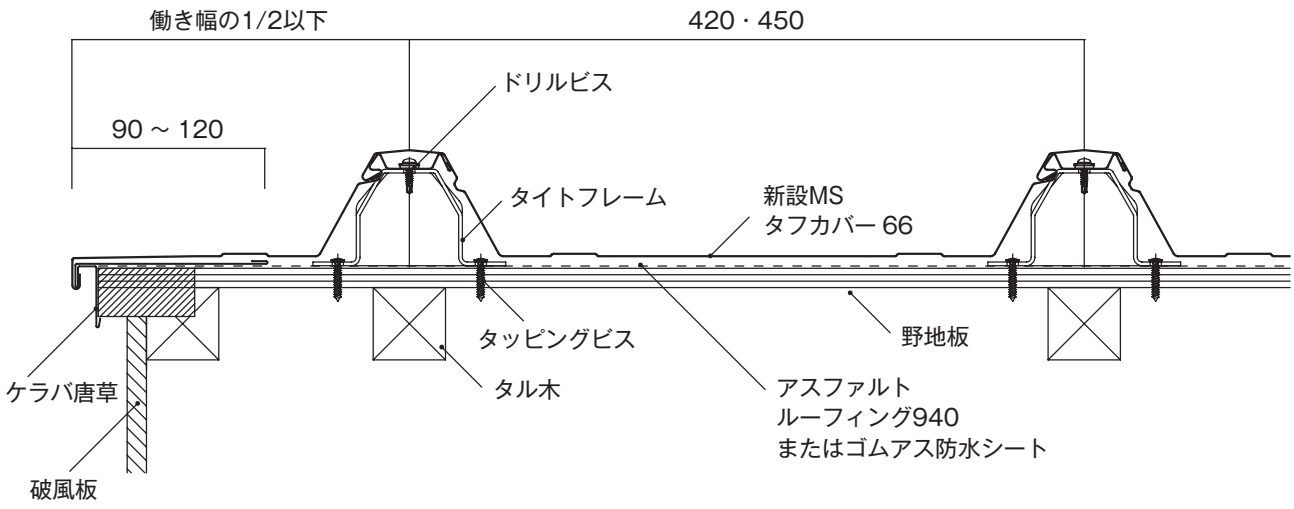
●鉄骨下地



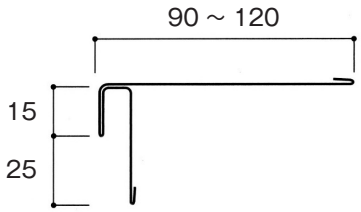
■ケラバ側の納め（リフォーム・新築共通）

●木造下地

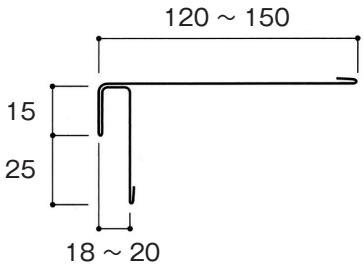
●葺き板本体のケラバ端部は働き幅の1/2以下に納めてください。
●ケラバ唐草に合わせて、端部を折り下げてつかみ込みます。



●ケラバ唐草

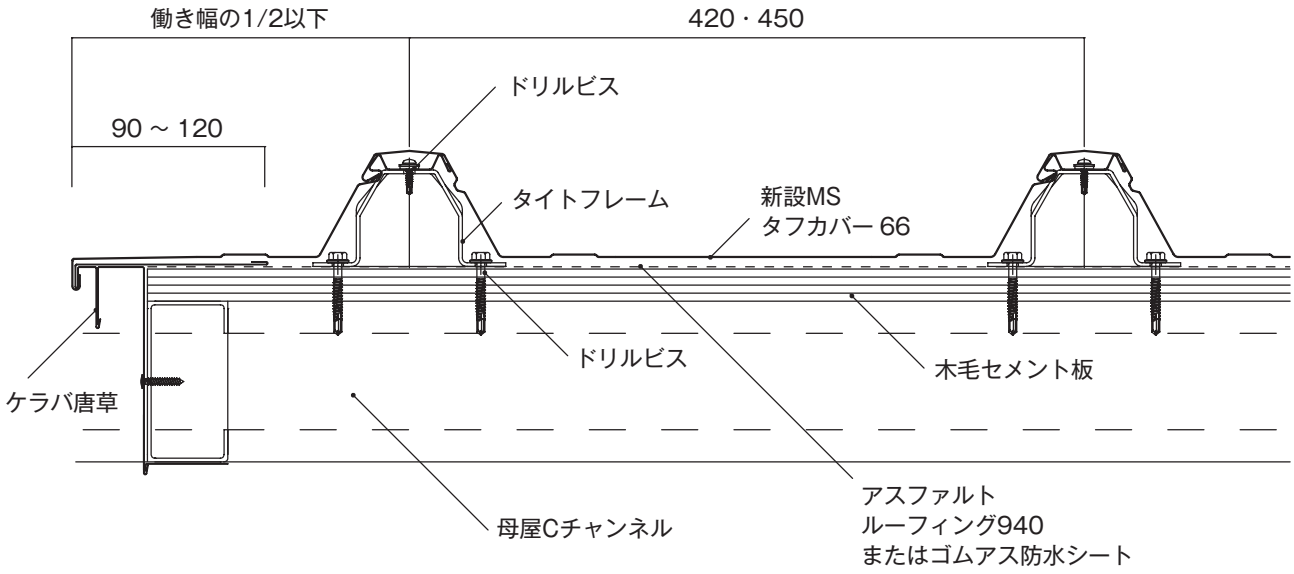


●軒先唐草ケラバ唐草兼用



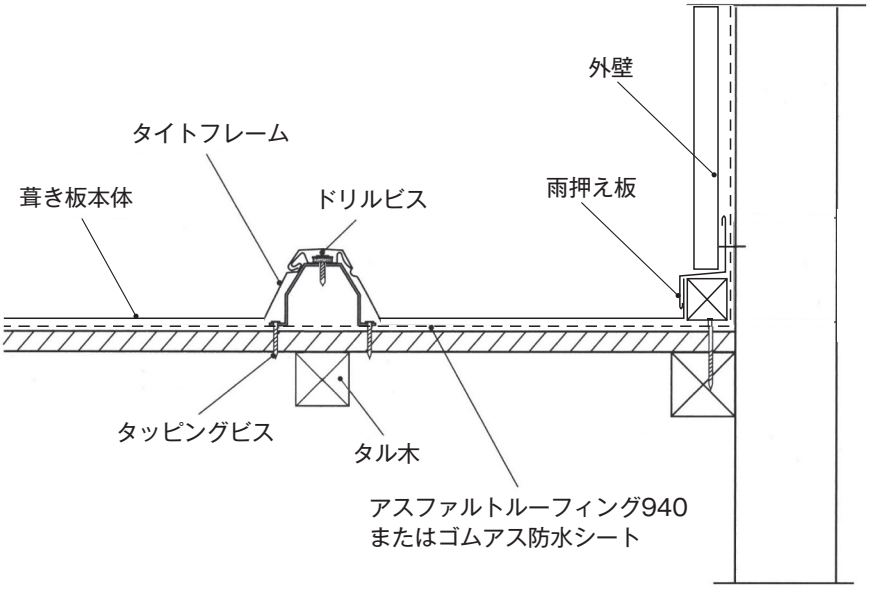
●各役物は現場に合せにて対応してください。

●鉄骨下地

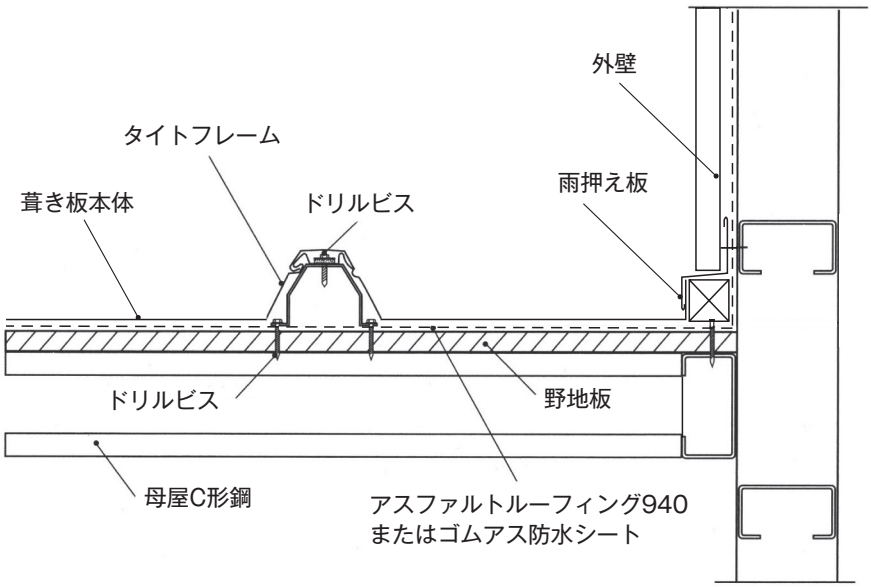


■流れ直角方向の納め（リフォーム・新築共通）

●木造下地



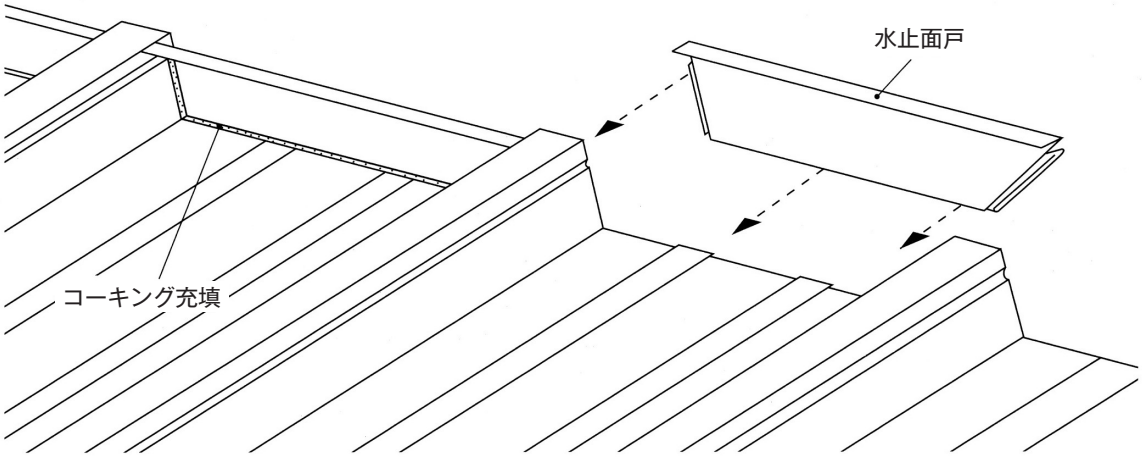
●鉄骨下地



■棟部の雨仕舞（リフォーム・新築共通）

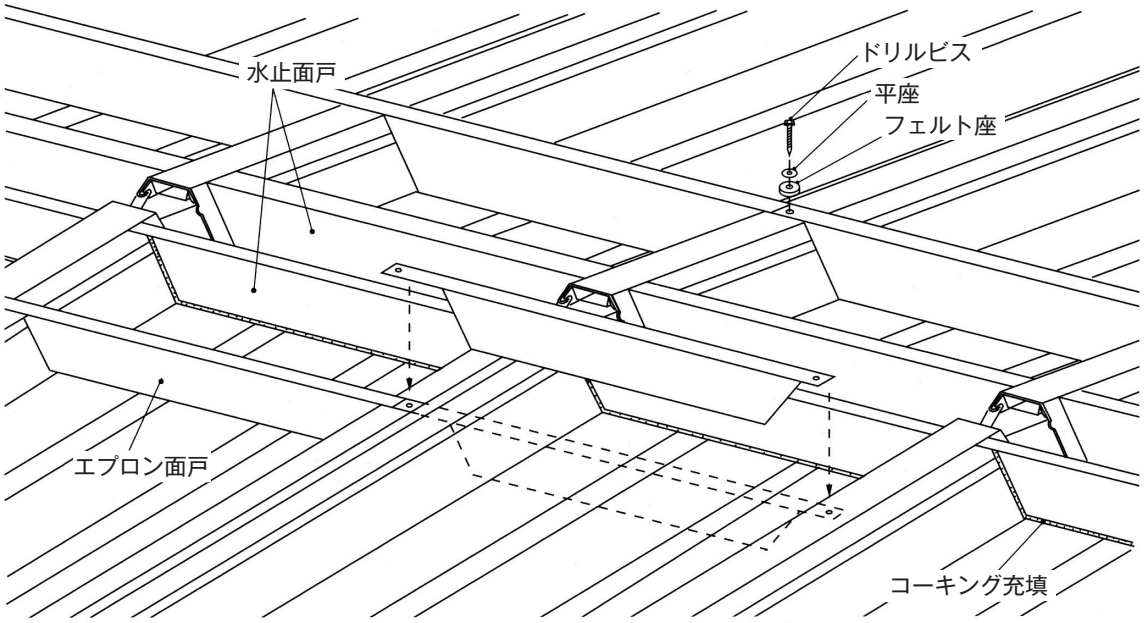
●水止面戸の取付け要領

●水止面戸は、屋根本体にしっかりはめ込んで、ブラインドリベット等で固定してください。
●かん合部の周りは十分にコーキングでシールしてください。



●エプロン面戸の取付け要領

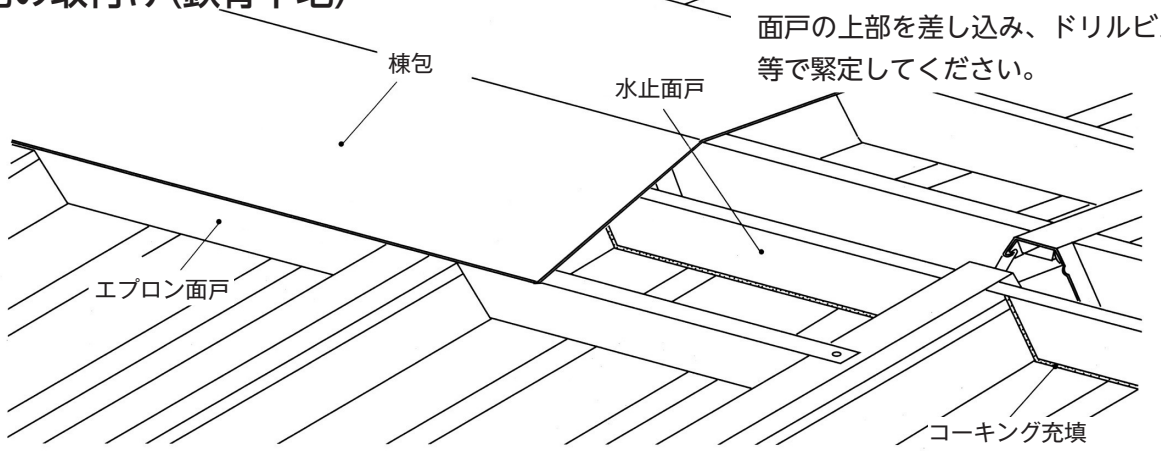
●エプロン面戸は葺き板山頂部に、ドリルビスで緊定してください。



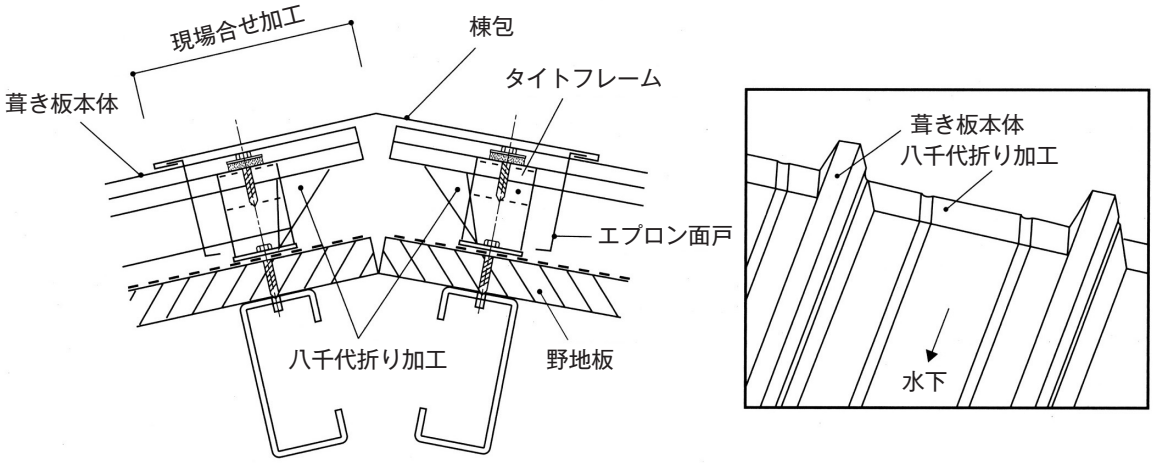
■棟納め（リフォーム・新築共通）

●棟包の取付け（鉄骨下地）

●棟包の折り返しはぜ部に、エプロン面戸の上部を差し込み、ドリルビス等で緊定してください。

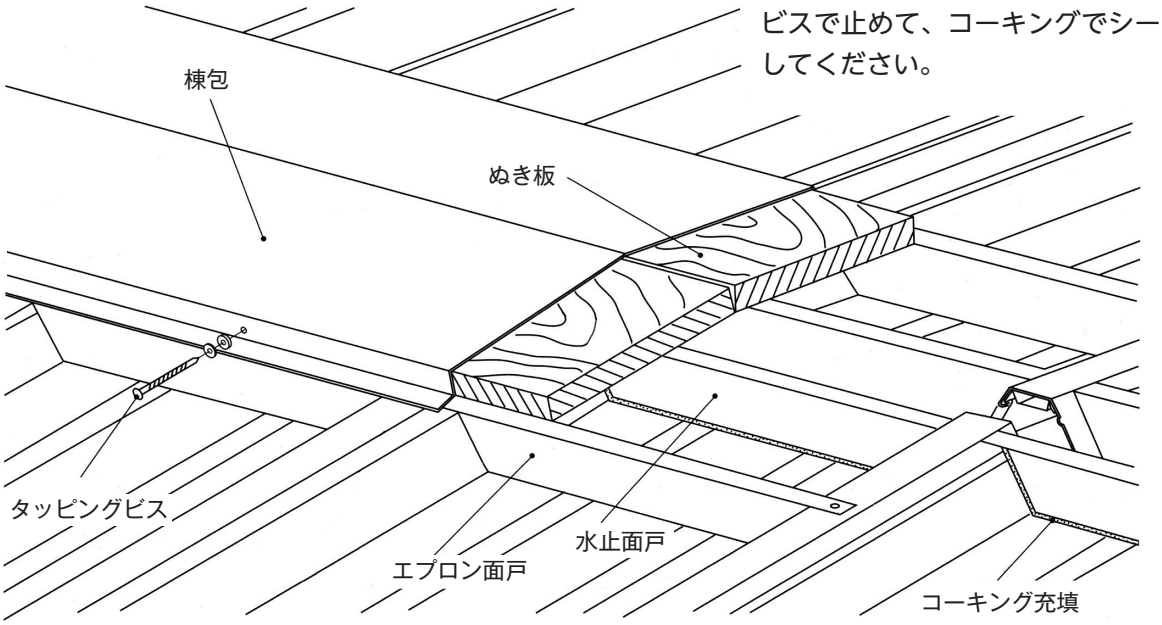


●八千代折り加工

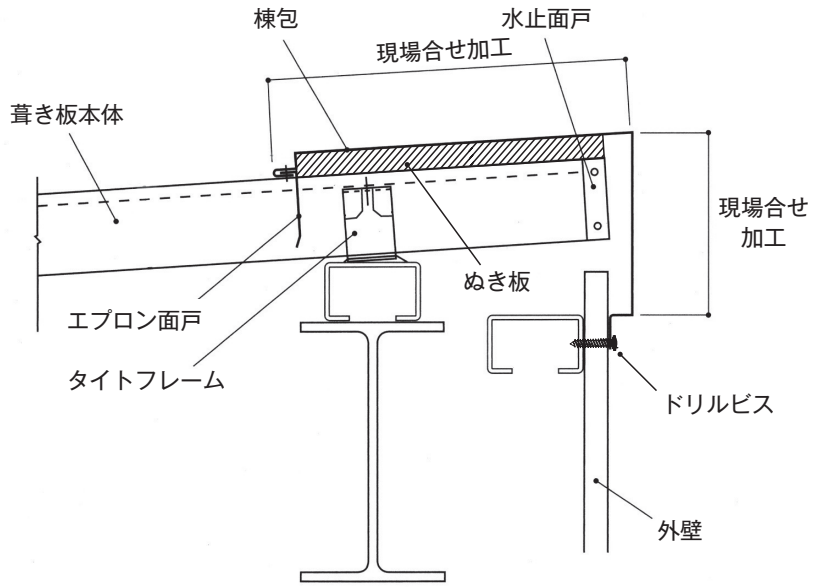


●棟のぬき板組み合せ取付図（木造下地）

●棟包は、ぬき板の側面にタッピングビスで止めて、コーキングでシールしてください。



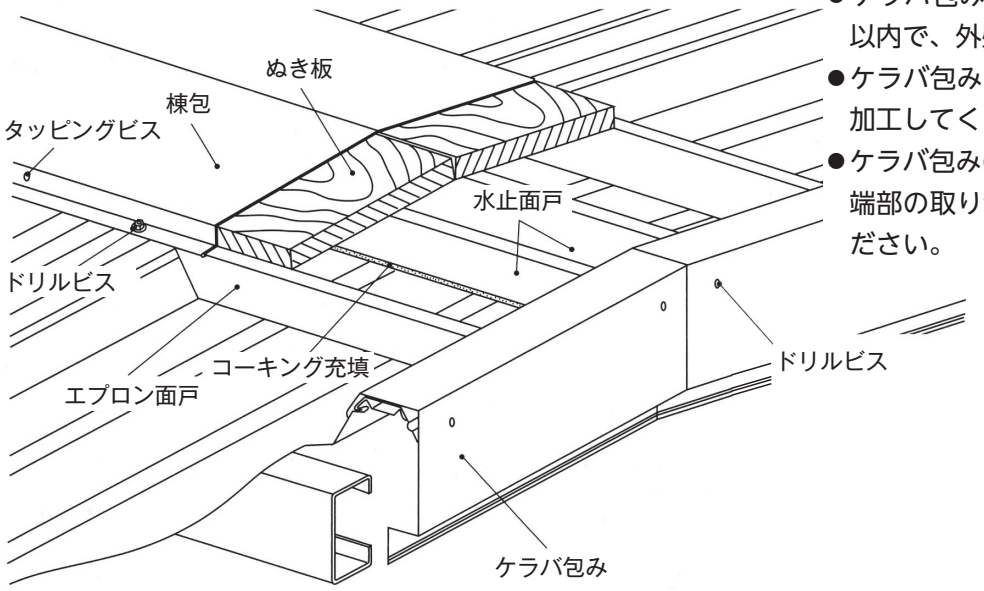
■水上部片棟納め



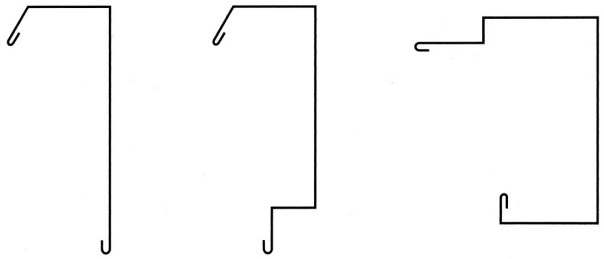
- 水止面戸はブラインドリベットで止め、全周をコーキングでシールしてください。
- 棟納めは、屋根勾配により、現場合せで加工してください。

■棟包とケラバ包み納め

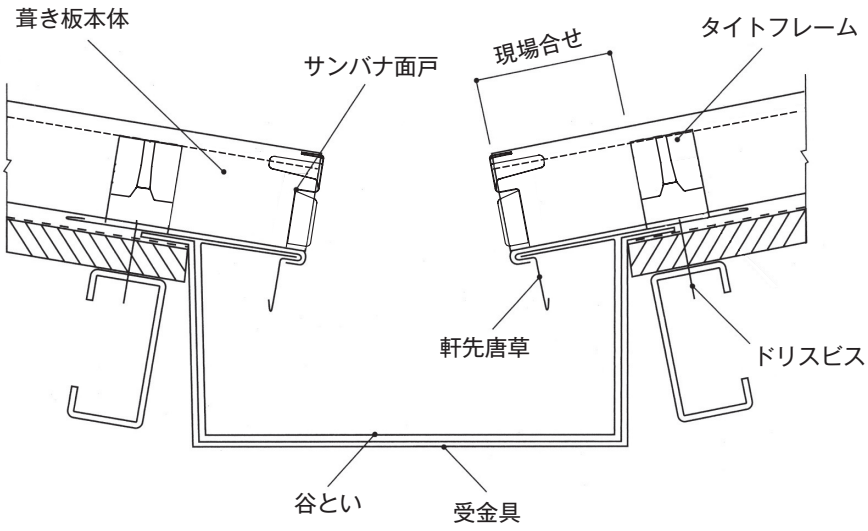
- 棟包の納めは、エプロン面戸、ぬき板、棟包の順番で納めてください。
- ケラバ包みの側面は、450mm間隔以内で、外壁に固定してください。
- ケラバ包みは、屋根勾配に合わせて加工してください。
- ケラバ包みの形状は、現場実測の上、端部の取り合いに従って加工してください。



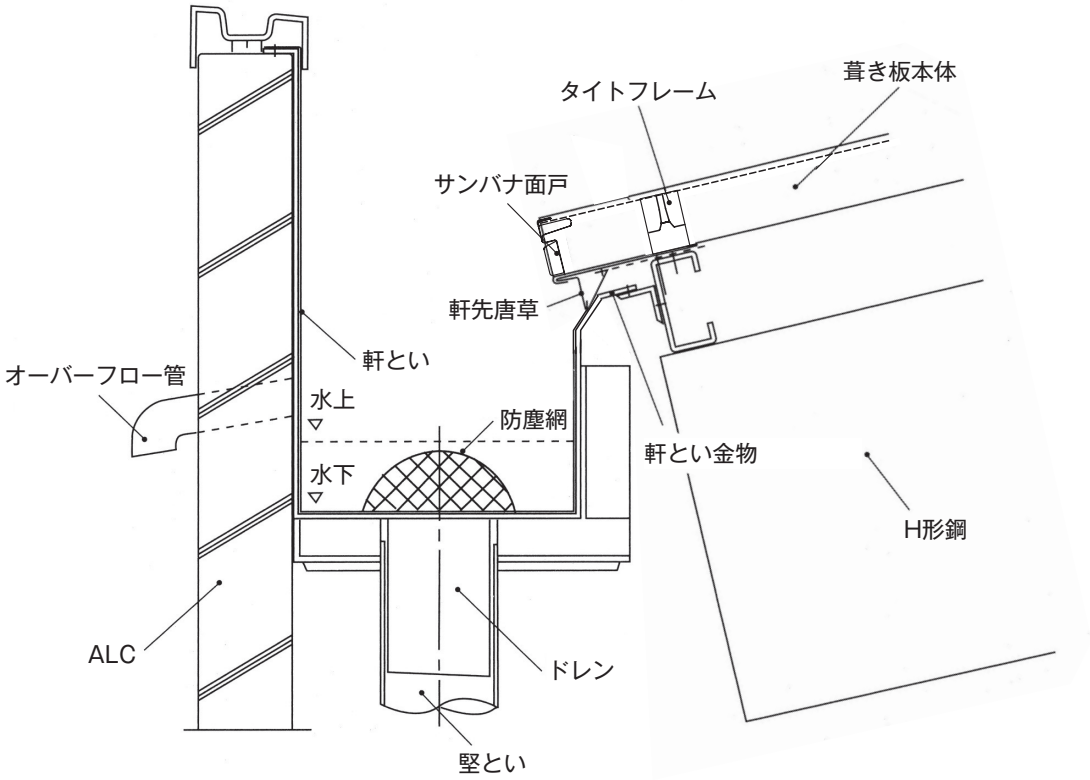
● ケラバ包み形状（例）（現場合せ加工）



■谷といの納め

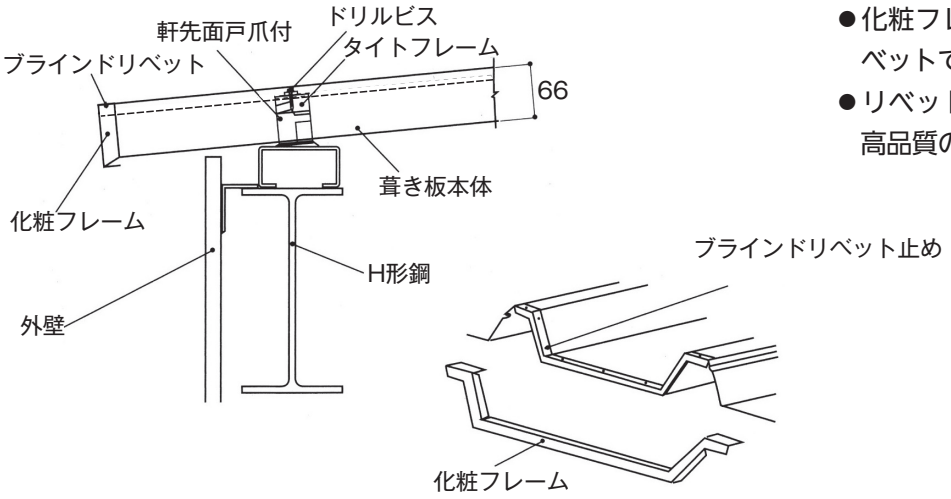


■軒先箱といの納め



■化粧フレーム納め

- 化粧フレームのラインを合わせ、不揃いにならないように取付けてください。
- 化粧フレーム納めは、ブラインドリベットで取付けてください。
- リベット緊結の場合は、強度のある高品質のものを選んでください。



(4) 新 築

施工の流れ

1）工程と作業の内容

【工程】	【作業内容】
葺き板搬入	荷上げ・養生
軒先・ケラバ各役物取付け	軒先唐草、ケラバ唐草各役物取付け
防水材の敷き込み	アスファルトルーフィング 940 または ゴムアス防水シートの敷き込み
割り付け・墨だし	タイトフレーム、本体等
タイトフレームの取付け	ビス留め
屋根本体の施工	MS タフカバー 66 本体取付け
各役物取付け（棟・雨押さえ・壁取合）	役物をそれぞれの仕様に従って取付け ケラバカバー、下り棟、雨押さえ、棟等
自主チェック	仕上げ、自主点検 （役物、キズ、不揃い、汚れの不具合）
片付け・清掃	残材片付け
完工・引き渡し	

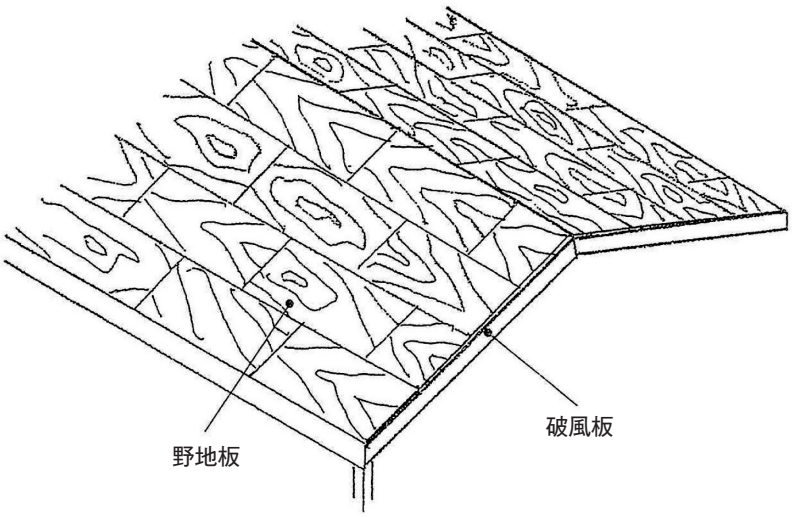
2）施工上のご注意

- 屋根勾配は5/100以上で施工してください。以下については十分な配慮をしてください。
- 最小曲げ半径は15Rm以上が可能です。
- 葺き板の重ね部への歩きは絶対に歩かないてください。雨漏りの原因になります。
- 屋根上で作業中に出る切粉は、錆びの原因となりますので、確実に取り除いてください。
- 作業中に生じたキズは、補修液で必ずタッチアップしてください。

■軒先・ケラバ各役物取付け

1）現場実測

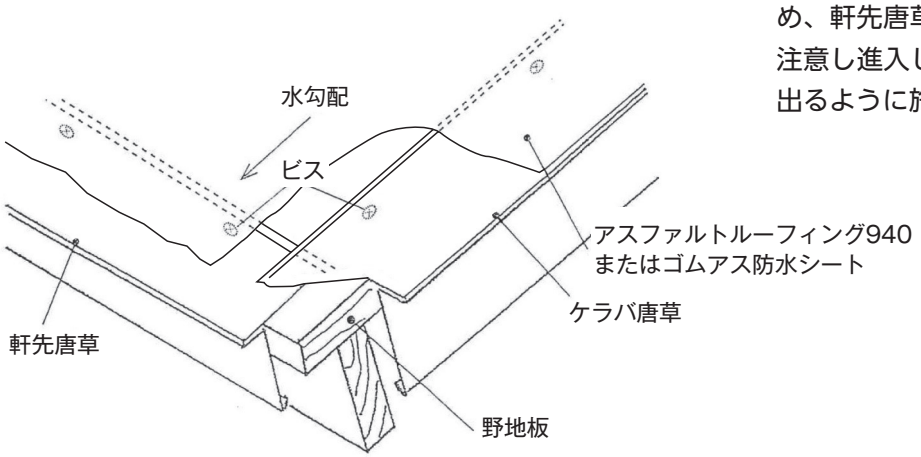
■確認事項
- 屋根勾配5/100以上
- 流れ・桁行きの寸法
- 野地板



2）軒先唐草／ケラバ唐草 取付け

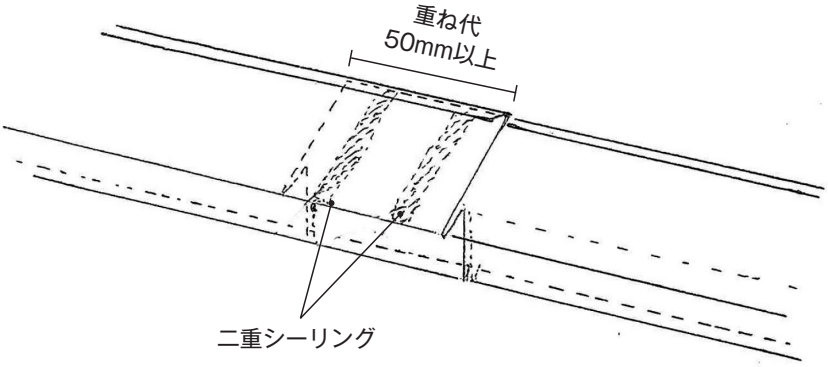
●軒先唐草とケラバ唐草の交点（例）

- 軒先唐草とケラバ唐草を野地板に留め、軒先唐草とケラバ唐草の交点に注意し進入した雨水は軒先より流れ出るように施工してください。



●継手（例）

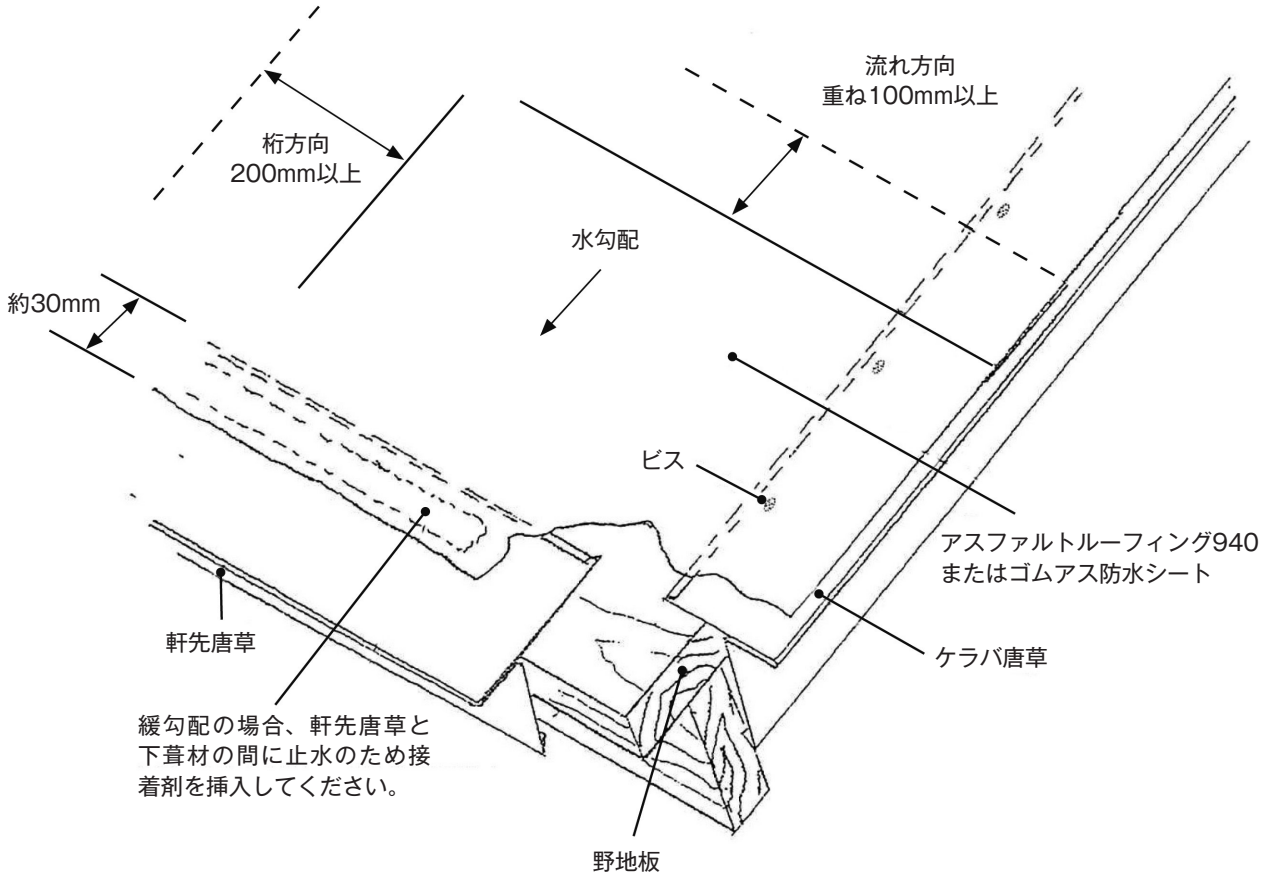
- 軒先唐草とケラバ唐草の継ぎ手ジョイント部は50mm以上の重ねとし、重ね部は二重にシーリングを施してください。



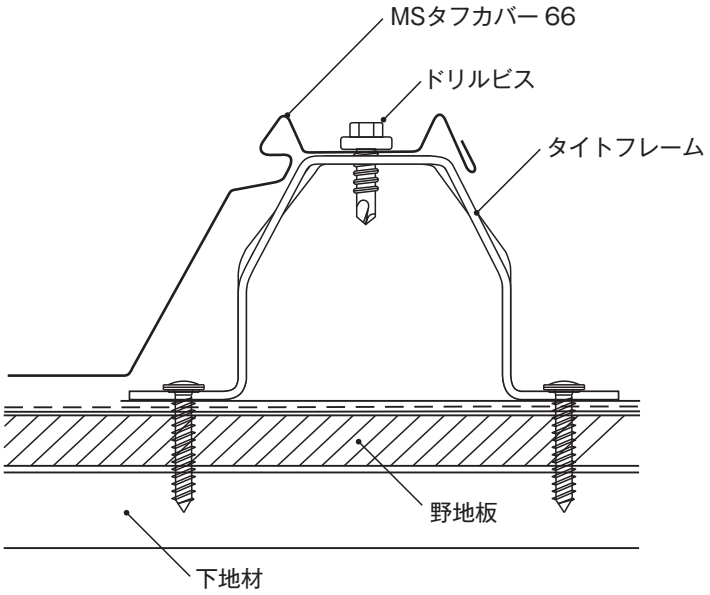
3）防水材の敷き込み

■確認事項

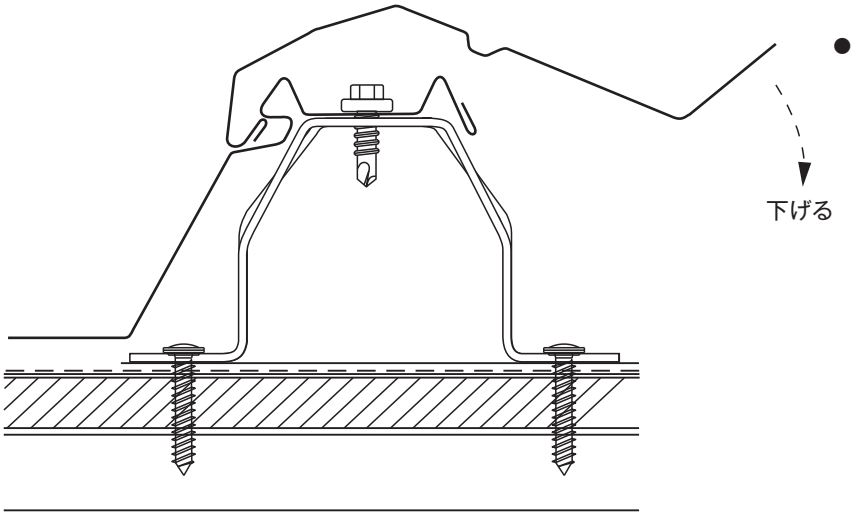
- 野地板にアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートを敷き込みます。
- 防水材の重ね部は流れ方向に100mm以上、桁方向の重ね部は200mm以上とします。
- ケラバ側は増張りでより防水性を高めてください。



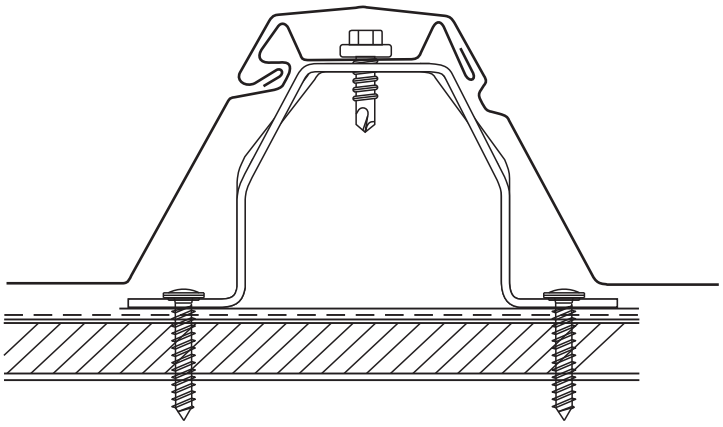
■施工手順／新築用



- タイトフレームは455mm以下ピッチに留めつけ本体をドリルビスで留めつけます。
- 本体下かん合側の山部をタイトフレームにドリルビスで留めつけます。



- 本体はかん合側を下かん合側の左側溝部に引きかけながら被せます。



- かん合部が完全にかん合しているか確認してください。

■注意事項　日新製鋼建材㈱カタログより抜粋

月星GLカラー/セリオスプライム、月星GLカラーつや消しタフクール

ご使用に際して

1. 混合使用

●同じ色彩の塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板でも製造メーカー、種類により特性値が異なり、年月を経ると外観に差異が生じることから同一建物での混合使用は絶対に避けて下さい。

2. 扱い疵

●成形･運搬･施工時、表面にスレ疵、カキ疵が付く場合がありますので、取扱いには十分注意して下さい。

3. 塗料を剥がす場合

●ハンダ付け等で塗膜を剥がす必要がある場合、剥離剤による方法がありますが、強い溶剤を含んでおり、剥離作業後の水洗が十分でないと、後に塗る塗膜を極端に傷めますので、水洗は十分に行って下さい。

4. 加工時のクリアランス

●呼び厚さは原板厚さを言いますので、加工時のクリアランスはめっきの厚さ及び塗膜の厚さを考慮の上、適正なクリアランスを設定して下さい。

5. 成形ロールの手入れ

●成形加工は、一般カラーと全く同様にできますが、良好な仕上がりを得るためには成形機の錆び落としなどの手入れをお願い致します。

6. 施工後の注意

●施工時に発生した切屑等は「もらい錆び」の原因となりますので、切屑は除去して下さい。

●軒下近傍等の雨掛かりし難い部分については、腐食原因物質が付着し黒い変色に至る場合がありますので、定期的に水洗いすることをお勧めします。

7. 補修塗装について

●塗料を剥した部分、著しい疵部分等、補修塗装する場合は補修塗料を使用して下さい（補修塗料は最寄りの販売代理店へ請求して下さい）。補修塗料はそのまま使用できるように調合してありますので、十分に撹拌し、溶剤で希釈せず直接刷毛等で塗布して下さい。

8. 月星GLカラーつや消し／タフクール･セリオスプライムつや消しの場合

●月星GLカラーつや消し／タフクール･セリオスプライムつや消しは、ポリエステル系塗料に特殊なつや消し剤を添加したものを塗装し、梨地肌の完全つや消し仕上げの製品外観（光沢が低く、表面粗度が大きい）にしているため、一般カラーと比較すると雪が滑りにくいと考えられます。このため、月星GLカラーつや消し／タフクール･セリオスプライムつや消しを屋根にご使用頂く場合には、この点を十分ご配慮の上ご使用願います。

9. 防腐･防蟻処理木材との長期接触による腐食の防止について

●防腐･防蟻剤（主に銅系の薬剤）を使用した木材や合板は、めっき鋼板や塗装鋼板の耐食性に影響をおよぼしますので、防腐･防蟻処理を含む木材との接触は避けて下さい。直接木材や合板に接触する部分（軒下、けらば、棟包み、水切り、降り棟、谷部、目地等）には絶縁用下葺（ルーフィング材またはブチルテープ等）をご使用下さい。

10.メタリック色の角形スパンドレル（Kスパン）への使用について

●メタリック色は光線の正反射性が強い傾向にあります。そのため、僅かな材料の歪みや角度の違いによって見かけ上に明暗が生じ、色ムラに見えます。従って角形スパンドレル（Kスパン）でメタリック色を選択される際には、ご注意願います。

保証内容について

●タフクール保証規格　塗膜膨れ剥れ保証最長15年

1.保証内容　塗膜の膨れ剥れの発生が一定の基準以下であること。
（切断端面から発生した異常は対象外）

2.保証期間　建築施工後最長15年間とします。

●セリオス プライム保証規格

1）月星GLカラーSELiOS Prime（セリオスプライム）全タイプ：建築施工後最長25年間、材料の腐食による穴あきが無いこと。

2）月星GLカラーSELiOS　Prime（セリオスプライム）つや消し（クリーン･クール/2タイプ）
：建築施工最長15年間、塗膜の変退色が一定の基準以下であること。

3）月星GLカラーSELiOS　Prime（セリオスプライム）つや消し（クリーン･クール･メタリッククール･メタリッククリーン/4タイプ）
：建築施工後最長15年間、塗膜の膨れ･剥がれの発生が一定の基準以下であること。（切断端面、加工部から発生した異常は対象外）

4）月星GLカラーSELiOS　Prime（セリオスプライム）エナメル（クリーン･クール･メタリッククール･メタリッククリーン/4タイプ）
：建築施工後最長10年間、塗膜の膨れ･剥れの発生が一定の基準以下であること。（切断端面、加工部から発生した異常は対象外）

●保証条件

1）適切な環境で使用されていること。（使用環境で保証年数は変わります。）
2）設計･施工･加工が適切に実施されていること。
3）お客様からの申請に基づき個別保証書を発行すること。

※1　保証には別途条件があります。保証の詳細については当社営業窓口または特約店にお問い合わせ下さい。

※2　個別保証書は大切に保管してください。苦情のお申し立ての際は個別保証書をご提示下さい。

●免責事項の例

1）切断面、端面、ボルト穴、くぎ穴、溶接部、現場加工部から派生する欠陥等。
2）軒下等雨がかりしないため、雨水による洗浄効果が期待できない部分の欠陥等。

※保証をお申込みされる場合、他の免責事項については当社営業窓口または特約店にご確認下さい。

◇最新の情報については、当社営業窓口または特約店へお問い合わせください。

補償対象外について

●タフクール･セリオスプライムについては、従来材と比較した機能の向上を製品特長としてうたったものであり、機能（遮熱、防汚、耐疵）を保証するものではありません。

不適切な使用例

以下は保証の対象外となる場合（免責事項）の例です。詳細はメーカー営業窓口または特約店へお問い合わせ下さい。

1. 環境例

●塩害、亜硫酸ガス、アルカリなどの影響がある場合。
●鉄粉など付着した場合。
●湖沼、河川などの周辺で常に水しぶきがかかる場合。
●天災地変、災害など、その他不可抗力による損傷が発生した場合。

2. 加工･施工例

●施工後に外力、加工屑などの飛来による損傷があった場合。
●加工時、施工時に損傷が生じた場合。
●防腐剤、防蟻剤を含む木材との長期接触があった場合。
●葺工法毎に許容される屋根勾配を無視した場合。

塗膜の経時劣化について

■塗膜の劣化過程

タフクール、セリオス プライムは、屋根･外壁などに施工されて年月を経るに従って、太陽光線。雨露、気温、大気中に含まれる亜硫酸ガスなどによりこのような過程を辿って塗膜の劣化が進みます。

光沢低下 ▶ 色調変化 ▶ チョーキング（白亜化） ▶ フクレ ▶ 白錆 ▶ 赤錆 ▶

■タフクール、セリオスプライムの一生と張り替えサイクル

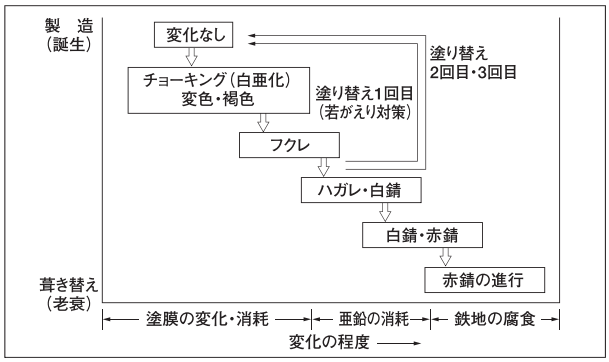
タフクール、セリオスプライムは適正な時期に手入れを行い、若返りの処置を施せば、寿命は飛躍的に伸び、軽くて強く、美麗で経済的な外装材としてご使用いただけます。

塗り替えが、「色褪せ」「チョーキング（白亜化）」が起こり「フクレが発するまでに行えば理想的です。

塗膜の劣化は使用地域、建物の環境などによって異なりますので、できれば年1回点検することをお奨めします。また、点検は軒先、軒下、釘打ち部分、加工部などのさび易い部分を重点に行ってください。

塗り替えに当っては、雨、雪、霜、結露で濡れたり凍ったりしますと塗装仕上りが悪く、塗料の性能を十分に発揮できませんので、気象条件を考慮してください。

※チョーキングとは、チョーク（白墨）をガーゼでこすると粉状のものが付着しますが、このような状態に塗膜表面が変化することをチョーキング（白亜化）と呼んでいます。



月星商事株式会社

本社 〒104-8533　東京都中央区八丁堀四丁目４番２号
営業 TEL：03（3551）2125　FAX：03（3552）4079
http://www.tsukiboshi-shoji.co.jp

大阪支店	TEL：06 (6462) 0202	FAX：06 (6462) 4466
福島支店	TEL：0247 (62) 6211	FAX：0247 (62) 6220
北関東支店	TEL：0270 (65) 3311	FAX：0270 (65) 8747
小山支店	TEL：0285 (49) 2311	FAX：0285 (49) 2317
埼玉支店	TEL：048 (728) 9111	FAX：048 (728) 8585
土浦支店	TEL：029 (831) 8022	FAX：029 (831) 8010
千葉支店	TEL：043 (259) 0511	FAX：043 (257) 2005
神奈川支店	TEL：046 (263) 2020	FAX：046 (263) 2035
静岡支店	TEL：0548 (22) 5241	FAX：0548 (22) 5631
名古屋支店	TEL：0561 (31) 0061	FAX：0561 (31) 0063
兵庫支店	TEL：0790 (22) 5271	FAX：0790 (22) 5262
山梨営業所	TEL：055 (284) 1261	FAX：055 (284) 1263
高松営業所	TEL：087 (806) 3311	FAX：087 (806) 2236
福岡営業所	TEL：092 (939) 5700	FAX：092 (939) 5703

■お問い合わせは ――――

1803HS-05